

目次

2014年 新刊紹介

日本図書館協会の事業

「日本図書館協会って？」Q&A

今後のセミナー等のご案内

新規会員募集のお願い



2014 年秋の新刊は、
こちら！



詳細は別ちらしをご覧ください

2014年 公益社団法人に移行しました

詳細は『図書館雑誌』2014年4月号特集をご覧ください。

2014年 新刊紹介

図書館用語集 四訂版

日本図書館協会用語委員会編
2013.10 B6判変型 74, 368p
ISBN978-4-8204-1311-0
定価:2600円
▽図書館関係の用語を解説する
ハンデいな用語集として好評を
得てきた『図書館用語集』の最
新版です。三訂版の刊行から
10年を経て、必要最小限の修
正を行いました。734の見出し語
の下に2,000語に及ぶ参照語
を集め、索引から本項目への案
内を充実させています。図書館
関連の用語を理解するために最
適のツールです。

RDA 入門 目録規則の新た な展開

JLA 図書館実践シリーズ 23

上田修一、蟹瀬智弘著 2014.2
B6判 205p
ISBN978-4-8204-1319-6
定価:1800円
▽本書は、英語圏の図書館が
使い始めた新たな目録規則
「RDA」(Resource Description
and Access)の解説書です。目
録がカードからデータベースへ
と変わり、目録作成の環境も提
供方法も大きく変化し、またデジ
タルデータの内容を記述するた
めに新たな目録規則が求められ
てきました。RDAはこうした要望
にこたえるべく、紆余曲折を経て
まとまったものです。本書では、
目録規則の変遷を追うとともに、
次世代の目録の基盤となる
RDAの特徴を説明し、さらに構
成と内容をやさしく解説してい
ます。グローバルな情報環境の中
で、目録が担う新たな役割を理
解し、今後の方向性を見定める
上で、必備の書です。

実践型レファレンス・サービ ス入門 補訂版 JLA 図書館実践シリーズ 1

斎藤文男、藤村せつ子著
2014.5 B6判 203p
ISBN978-4-8204-1400-1
定価:1800円
▽2004年初版で刊行されたも
のの補訂版である。公立図書館
におけるレファレンス・サービ
スのあり方を述べる第1部は、図
書館現場での基礎知識であり、
概説である。第2部では、実際
にあったレファレンス質問に対
する探索プロセスの実際を、丁
重明瞭なアドバイスを付し、50
題収録した。補訂版では事例を再
調査し、新たな情報源や調査ポ
イントを追加情報としてまとめて
いる。現役司書のお気に入り参
考図書リストなど、豊富な情報が
満載されている。現役の図書館
員、図書館学を学ぶ学生・社会
人のほか、図書館の利用者をも
読者対象にした。

図書館多読への招待

JLA 図書館実践シリーズ 25

酒井邦秀・西沢一編著 2014.8
B6判 186p
ISBN978-4-8204-1404-9
定価:1600円
▽「多読」という外国語の身に
つけ方をご存じでしょうか？ 辞書
は引かない、わからないところは
飛ばす、自分に合わないと思っ
たら次の本に移る、という三原則
で、知らず知らずのうちに外国
語のままでその内容を理解でき
るようになる、という読書法です。
まず字のない絵本をたくさん読

み、少しずつ語数の多い本を読
み進めていきます。この方法は、
非常にたくさんの本を必要とする
ため、個人の力で読み進めるに
は限界があります。もし図書館に
「多読」用の資料が豊富にあれ
ば、利用者は読みたいときにた
くさん読めて、自然に語学力を身
につけることができます。本書で
は、多読の方法、資料の種類、
図書館での実践例などを豊富に
紹介しています。

図書館史の書き方・学び方 図書館史の現在と明日を考 えるために

JLA 図書館実践シリーズ 24

奥泉和久著 日本図書
館協会 2014.6 B6判 246p
ISBN978-4-8204-1402-5
定価:1900円
▽『近代日本公共図書館年表』
を編んだ著者が、自身の豊富な
図書館史研究の実績から、日々
図書館の現場に立つみなさんこ
そ、図書館史の視点を持って、
自らの仕事を俯瞰してほしいと
願って著した好著です。最初に
調査研究法の学び方を、最後に
図書館史の書き方を手ほどき
し、その間の章では、各テーマ
ごとに図書館の歴史を記述する
という構成になっています。従来
の図書館史の記述とは異なり、
各テーマを軸に歴史をたどり、
その意味を読み解くという手法を
とりました。本書に導かれて、図
書館員こそが歴史の語り手となり、
自分の仕事の意味を客観的に
見つめ直すことで、あらためて図
書館の存在意義を知る機会にな
るはずですよ。



ここに紹介した以外の
研修は、

www.jla.or.jp/

で、ご覧になれます。

日本図書館協会の事業

日本図書館協会はこれらの事業に重点的に取り組んでいます

●図書館職員の育成・研修

- ◆高度な専門性をめざす……中堅職員ステップアップ研修
- ◆基礎を学ぶ……図書館基礎講座、学校図書館基礎講座
- ◆利用者に対応したサービス……児童図書館員養成専門講座、障害者サービス担当職員講座
- ◆新しいテーマや技術……資料保存セミナー、図書館建築研修会

- ◆「日本図書館協会認定司書」…専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験や実践的知識を継続的に習得した者を評価し、図書館経営の中核を似ないうする司書として公的に認定。

- ◆「JLA 図書館情報学テキストシリーズ」、「JLA 図書館実践シリーズ」…図書館情報学を学ぶ人たちが図書館サービスの担い手に役立つ資料。

●図書館にかかわる情報の収集と提供

- ◆機関誌『図書館雑誌』（月刊）、『現代の図書館』（季刊）

刊）……あらゆる館種、テーマについて

- ◆JLA メールマガジン（週刊）……最新情報を簡潔に伝える

- ◆資料室……図書館に関する資料の集積・整理、レファレンス、一般に公開

- ◆『日本の図書館 統計と名簿』（年刊）……全国の公共、大学、短大、高専図書館の調査

- ◆『図書館年鑑』（年刊）……図書館にかかわるあらゆる事象を記録

●時機を得た政策提言、意見の表明

- ・ 公立図書館における「アンネの日記」破損事件について（声明）（2014年）

- ・ 学校図書館法の一部を改正する法律案（仮称）骨子案」に対する要望（2013年）

- ・ 「豊かな文字・活字文化の享受と環境整備 - 図書館からの政策提言」（2012年）

- ・ 東日本大震災により被災した図書館の復旧、復興のための施策について（要望）（2011年）

●図書館の運営・サービスのための調査、ツールの作成

- ・ 『日本十進分類法』、『日本目録規則』、『基本件名標目表』の維持管理

- ・ 『図書館用語集』『図書館ハンドブック』の改訂、『図書館実践シリーズ』の刊行

- ・ 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き」の普及

- ・ 図書選定のためのツール『選定図書総目録』の刊行

●国際交流、関係団体との連携

- ・ 各国図書館協会との交流、IFLA 大会

- ・ Help-Toshokan JLA 東日本震災対策委員会が中心となり、他機関と協力して被害を受けた図書館の復興のため資料的、人的支援を実施している。

「日本図書館協会って？」Q&A

Q. 日本図書館協会は図書館の発展にどのように役立つのですか？

A. 公益社団法人日本図書館協会の目的は、「図書館の進歩発展をはかる事業を行うことにより、人々の読書や情報資料の利用を支援する」ことです。新しい法律の下公益法人は、不特定多数の者に裨益する（役立つ）活動を行うことが目的として規定されています。公益社団法人の会員は、会費を納めつつ、その会費は、自己の利益の

ためではなく、他の人々、他の図書館に貢献できるような活動に使うことが求められているのです。日本図書館協会はその目的達成のために、様々な事業を行っています。

Q. どのような人たちが運営しているのですか？

A. 代議員*によって選ばれた理事が構成する理事会が執行機関となり、日本図書館協会全体の運営に責任を負うこととなります。理事の中から代表理事

（理事長と副理事長）と業務執行理事（専務理事と常務理事）が選定され、具体的事業活動に関与、つまり実際の運営に関わっています。公益社団法人としてふさわしい運営すなわちコンプライアンスと情報の共有・透明性が基本です。

*代議員は、正会員の中から正会員の選挙によって選出されません。

Q. 企業や個人が日本図書館協会を支援するにはどのような方法がありますか？

A. 図書館サービスの向上を通じて国民生活に役立つこと、これが日本図書館協会の活動目的です。この活動を支援していただく方法として賛助会員と寄附の制度があります。

・賛助会員として入会していただく
制度年会費額 一口 10,000 円 (何口でも)

・寄附 特定公益増進法人として、税制上の優遇措置が適用され、寄附者は所得税・法人税の控除が受けられます。

*詳しくは、総務までお問合せください

Q. 日本図書館協会にはだれでも参加できるのですか？

A. どなたでも参加できます。

日本図書館協会は、図書館員とりわけ司書資格をもつ人に限られたものと思われがちですが、決してそうではありません。日本図書館協会の活動はみなさんに開かれています。新しい規程で会員の種類を増やして入会をしやすくしました。また日本図書館協会が主催する各種の講座・セミナーもどなたでも参加できます。(一部には図書館の経験年数や司書資格を問うものもありますので個々の事業の案内でご確認ください。)

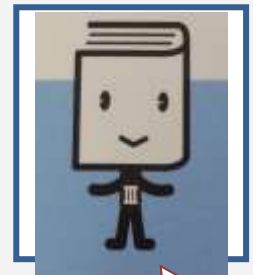
Q. 図書館がよりよくなるような活動に参加したいのですがどんなことがあるのでしょうか？

A. 日本図書館協会の会員になって活動を支援していただくことはもちろんですが、ほかに多くの「図書館関係団体」があります。住民運動や読書推進の団体、都道府県単位の図書館協会や館種別の団体も

あります。まず身近なところから参加してみることも一法です。「図書館関係団体」についてお知りになりたい場合は『図書館年鑑』(日本図書館協会)をご覧ください。

Q. 日本図書館協会の活動資金はどうやって得ているのですか？

A. 日本図書館協会は広範で多様な活動をしています。公益社団法人として税法上の措置を受けますが、活動(事業)に関わる経費の一切は自ら得た収入でまかなっています。その収入の三分の二以上を会費と出版事業の収益が占めています。会員の拡大と出版物の普及は不断に取り組むべき課題です。一方で公益社団法人は寄附の控除が受けられますので日本図書館協会の活動に対する支援(寄附等)を広く積極的に募っています。



**JLA 図書館情報学
テキストシリーズⅢの
新刊**

① 図書館概論 三訂版
塩見昇編著
2014.5 B5判 284p
ISBN978-4-8204-1403-2
定価:1,900 円

⑥ 児童サービス論
堀川照代編著
2014.2 B5判 270p
ISBN978-4-8204-1315-8
定価:1,900 円

⑩ 情報資源組織演習
和中幹雄, 山中秀夫, 横谷
弘美共著
2014.1 B5判 270p
ISBN978-4-8204-1317-2
定価:1,900 円

2014年 新刊紹介 (つづき)

**図書館の設置及び運営上の
望ましい基準活用の手引き**
平成 24 年 12 月 19 日 文部科学
省告示第 172 号

日本図書館協会図書館政策企画
委員会望ましい基準検討チーム
2014.1 A4判 112p
ISBN978-4-8204-1313-4
定価:1000 円

JLA 施設 ABC 会員配布資料
▽【目次】はじめに, 1「望ましい基準」策定の経緯, 2 2008 年の図書館法改正, 3「望ましい基準」に対する取組みと評価, 4「望ましい基準」解説, 5「望ましい基準」今後の課題, 6「望ましい基準」活用の視点, 7 指標・数値目標、資料

障害者サービスと著作権法

JLA 図書館実践シリーズ 26
日本図書館協会障害者サービス
委員会、著作権委員会編 2014.9
B6判 131p
ISBN978-4-8204-1409-4
定価:1600 円

▽著作権法改正(2009年)に伴い
障害者の情報保障に向けた活動を
円滑に行うために著作権者の権利
制限規定が拡充され、障害者用

を利用できる人が大幅に拡大され、さらに、障害者用資料を公共図書館・大学図書館・学校図書館等の施設で製作し、提供することも可能になりました。本書は法改正の概要を解説するとともに、図書館で何ができるのか、具体的事例と法的根拠をわかりやすく示すことで、今後の障害者サービスの展開に資する手引書です。本書をきっかけに、障害者のための図書館サービスに取り組んでください。

**日本の図書館 統計と名簿
2013**

日本図書館協会図書館調査事業委員会編 2014.1 B5判
512p
ISBN978-4-8204-1316-5
JLA 施設 AB 会員配布資料
定価:14000 円
▽50 年以上にわたる日本における全国規模の図書館の悉皆的な統計書。公共、大学、短期大学、高専図書館の個別データと調査項目ごとの集計が掲載されている。評価と計画のために欠かせない基本統計。電子媒体版の頒布もあり(申込書は HP にあり)

図書館年鑑 2014

図書館年鑑編集委員会編
2014.8 B5判 794p
ISBN978-4-8204-1405-6
定価:21000 円

▽2013 年 1 年間の図書館にかかわるさまざまな動きを概況、統計、資料、名簿で多面的に紹介しています。

**選定図書総目録 2014 年版
CD-ROM**

日本図書館協会編 2014.8
DVD ケース CD-ROM 1 枚
ISBN978-4-8204-1406-3
定価:20000 円
▽内容:日本図書館協会による 2009~2013 年の 5 年分の選定図書 46,544 点を収録(うち 2013 年分は 7,465 点)。内容解説付。書名、著者名、出版社、件名、ISBN、NDC 新訂8版・9版、読者対象が検索可能。検索したデータは、発注用にダウンロードできるようになっています。

書籍の購入方法

日図協 HP から購入可能ですが、ご希望の書名を検索していただき、買い物カートに入れてお手続きしていただくことになります。

詳細は、別紙、または、日図協 HP まで。

**2015 年 1 月 23 日まで
期間限定
特割販売
実施中!!**

今後のセミナー等のご案内

「図書館基礎講座」

対象：雇用形態の区別や職務内容を問わず、図書館で働く人、図書館に関心を持つ人などすべての人。内容は公共図書館向け。

*お問合せ先、お申込み方法は、『図書館雑誌』10月号をご覧ください。

◆「図書館基礎講座」 in 東北 part2

主催：日本図書館協会
会場：山形県立図書館
日時：11/17(月) 10:30～16:40
内容：講座3「図書館の自由」、講座4「現代の図書館の動向」、交流会
受講料：1講座 400円

◆「図書館基礎講座」

主催：日本図書館協会
会場：ユニコムプラザ相模原
セミナールーム1
日時：12/1(月)、12/15(月)
10:30～13:00、14:00～16:30
12月1日(月)
講座1「図書館の基礎」、講座2「出版流通と資料選択」
12月15日(月)
講座3「図書館の自由」、講座4「図書館の自由」
受講料：1講座 200円

◆「図書館基礎講座」 2014 in 関西

主催：日本図書館協会
会場：大阪市立中央図書館
日時：12/1(月)、12/15(月)

内容：第1講「図書館の基礎」、第2講「図書館の自由」、特別講座1「レファレンス」、第3講「出版流通と資料選択」、第4講「図書館サービスの動向」、特別講座2「地域資料」
受講料：1講座 200円（特別講座は無料）
定員：60名

※各詳細は、『図書館雑誌』、メールマガジン、日本図書館協会ウェブサイトまで

公益社団法人
日本図書館協会
〒104-0033
東京都中央区新川
1-11-14

電話番号
03-3523-0811(代)

このちらしの内容についてのお問い合わせは、企画調査部まで

Tel
03-3523-0815 (企画調査部)
Fax
03-3523-0841(代)
E-mail
kikaku@jla.or.jp

新規会員募集のお願い

ぜひ、この機会にご入会ください

2014年入会キャンペーン 実施中！（2015年3月31日まで）

日本図書館協会は、いつでも、どこでも、新規会員募集をしております。どなたでも、ご入会できますので、図書館で働く方、図書館についてもっといろいろな情報を知りたい方、また、もっといろいろな“図書館人”と交流したい方は、ぜひ、ご入会をご検討ください。（入会についての詳細は、JLAウェブサイトもご覧ください）

入会お手続き完了後、2014年入会キャンペーン特典をお送りいたします。

2014年入会キャンペーン特典

入会特典1：
JLAオリジナル・クリアフォルダをプレゼント！
『図書館の自由に関する宣言』ポスター図柄

入会特典2：選べる本のプレゼント！
JLA出版物「特選リスト」から、お好きな1点をお選びいただけます。

ご紹介者特典：
新規会員をご紹介いただいた会員様にも「クリアフォルダ」をプレゼント！

入会案内資料のご請求はWebが便利です・・・

入会申込のご請求は、JLA ウェブサイトの「入会案内送付申込みフォーム」をご利用ください。

又は、メール、FAXで、「お名前」「郵便番号」「ご住所」「ご希望の会員種別（個人会員、施設等会員、準会員、賛助会員。複数種請求可能。）」をご記入のうえ、会員係まで、お送りください。資料は郵送にてお送りいたします。

会費

個人会員 A 9000円
（図書館、出版、情報関係の仕事をしている方、その他図書館に関心のある方）
個人会員 B★ 5000円 ★2014年より新設
（図書館で働いている非正規雇用職員の方）

会員には、施設会員、団体会員もあります。詳細はウェブサイト又は会員係まで。

個人会員への会員特典：

機関紙『図書館雑誌』、メールマガジン（登録制）を無料でお届け／『図書館雑誌』WEB版の閲覧（登録制）／協会出版物の割引購入／協会主催セミナーの割引額で参加・・・など

●第5期認定司書 申請受付開始します。

申請受付期間：2014年11月1日（土）～12月1日（月） [消印有効]

●第101回全国図書館大会は、東京で開催します。

会期：2015年10月15日（木）～16日（金）

●JLAメールマガジン申込み（随時受付中！）

電子メールを利用して、毎週、図書館に関する情報を提供。
申込条件は、日本図書館協会の会員であること。
非会員の場合は、お試し期間として1か月間のみ配信いたします。

お知らせ

ちらしに掲載のJLA出版物、セミナー、お知らせ等の詳細につきましては、JLAホームページ、『図書館雑誌』、メールマガジンをご覧ください。